学校番号	216

平成 31 年度　家庭科

教科	家庭	科目	家庭総合	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校 新版 家庭総合「ともに生きる・持続可能な未来をつくる」（第一学習社）						
副教材等	ニュービジュアル家庭科　資料＋成分表 2018　（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実習等にも積極的に取り組み、生活に必要な知識や技術を実践的・体験的に習得しましょう。
・学んだ内容を生活の中で実践してみましょう。

2　学習の到達目標

食生活、経済生活、消費生活、高齢者の生活と福祉、共生社会に関する知識と技術を総合的に習得させ、生活課題を主体的に解決すると共に、家庭生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	食生活、経済生活、消費生活、高齢者の生活と福祉、共生社会について関心をもち、その充実向上をめざして主体的に取組むとともに、実践的な態度を身に付けている。	食生活、経済生活、消費生活、高齢者の生活と福祉、共生社会について課題を見いだし、その解決をめざして思考を深め、適切に判断し、工夫し,創造する能力を身に付けている。	食生活、経済生活、消費生活、高齢者の生活と福祉、共生社会に関する基礎的・基本的な技術を身に付けている。	食生活、経済生活、消費生活、高齢者の生活と福祉、共生社会に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 調理計画 実習記録 自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 調理計画 実習記録 レポート 定期考査の結果 自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 定期考査の結果 自己評価	学習状況の観察 ワークシートの記述 調理計画 実習記録 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	食べる	○栄養と食品 ・加工食品・健康増進のための食品 ○食生活の安全のために ・食生活の安全と衛生 ・食品の選択と保存 ○食生活をデザインする ・栄養バランスのよい食事 ・ライフステージと食事 ・献立作成の手順 ・調理の基本	○ ○ ○	 ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	a:栄養、食品、調理、食品衛生などの食生活の科学と文化、安全と環境に配慮した食生活に関心をもち、意欲的に学習に取組もうとしている。 b:栄養、食品、調理、食品衛生などについて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:主体的に食生活を営むために必要な食品の選択、調理、食生活の管理などの技術を調理実習を通して身に付けている。 d:栄養、食品、調理、食品衛生などについて、科学的に理解し、安全と環境に配慮した食生活を主体的に営むために必要な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ワークシートの記述 自己評価 中間考査 学習業況の観察 ワークシートの記述 調理計画 実習記録 自己評価 期末考査
2学期	経済生活を営む	○私たちの暮らしと経済 ・経済生活の中身を知る ・家庭生活と社会のかかわりを知る ・将来の経済生活を考える ○消費者問題を考える ・消費者問題はなぜ起こるのか ・契約トラブルとその対策 ・クレジット利用のリスク ・消費者の自立と行政の支援 ○持続可能な社会をめざして ・消費生活と環境問題 ・私たちに何ができるのか	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:経済生活の計画、消費行動と意思決定、消費者の責任などに関心をもち、意欲的に学習活動に取組もうとしている。 b:家庭経済の計画について考え、工夫している。 c:自立した消費者としての家庭経済の管理や計画に関する技術を身に付けている。 d:経済生活の計画、消費行動と意思決定、消費者の責任などについて理解し、適切な意思決定に基づいて責任をもって行動できるために必要な基礎的・基本的な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ワークシートの記述 自己評価 中間考査 学習状況の観察 ワークシートの記述 自己評価 期末考査

3学期	充実した生涯へ	○高齢期を生きる ・高齢期をどう生きるか ・高齢期の生きがいと就労・社会参加 ・高齢者を知る	○	○		○	a:高齢者の生活と福祉などについて関心をもち、意欲的に学習に取り組もうとしている。 b:高齢者の生活と福祉などについて、現代の家庭や地域の生活を見つめて課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:日常生活に必要な基礎的介助ができき、高齢者福祉サービスについて、調べることができる。 d:高齢者の生活と福祉などについて理解し、家族・地域・社会の果たす役割を認識するために必要な知識を身に付けている。	学習状況の観察 ワークシートの記述 自己評価 レポート
		○高齢社会を支え合う ・高齢社会の現状と課題 ・高齢者やその家族の支援システム ・高齢者の尊厳を支える	○	○	○	○		
	ともに生きる	○社会保障制度と福祉	○			○	a:共生社会における家庭や地域の一員として主体的に行動しようとしている。 b:共生社会を実現するために社会の一員として何ができるか考えることができる。 c:居住する地域のサービスやコミュニティ活動について、情報を収集・整理することができる。 d:社会保障制度の趣旨と概要、社会福祉や地域社会の役割、福祉サービスの適切な利用の仕方などについて理解している。	学習状況の観察 ワークシートの記述 自己評価
		○ともに生きる社会をめざして	○	○	○			

※表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。